2009 年 7 月 21 日

特別講演「経営戦略からみた情報化戦略」

立命館副総長（新戦略、国際担当）
国立大学マネジメント研究会会長
本間政雄

1. 現代の大学を取り巻く環境の変化

- 政府の財政事情のさらなる悪化→交付金・補助金の削減、高まる効率化の要求
- 「知識社会」「知識経済」の到来→教養教育の見直し、教育の質保証を求める声の高まり
- 経済・社会のグローバル化→外国語によるコミュニケーション力の向上、異文化理解・体験
- 社会的説明責任の強化→大学評価、学力到達度の検証（AHELO）、コンプライアンス、情報公開
- 規制緩和と国公立大学の法人化→護送船団方式から自由競争へ、競争の強化
- 競争的資金の拡大→組織力、企画力

2. 変化の下での大学経営戦略と情報化

- 効率的、効果的大学運営の実現→財務・人事・教学・病院事務などの「電子化」、「電子事務局」、「電子カルテ」、「TV会議」
- 経営、教育、研究、医療、社会連携など多様化する大学の活動の情報基盤への依存拡大→情報セキュリティの強化
- 大学改革（主として教育力強化や教員評価）の推進→「Institutional Research:IR」に基づく「事実とデータによる改革」、調査・分析ツールとしての情報のDB化
- 大学経営の複雑化・高度化→学内合意形成ツールとしてのHPなどを通じた双方向コミュニケーション
- 社会的説明責任の強化→危機管理としての情報伝達
- 大学改革（教育の質の向上）→ICT活用による教材の豊富化、教授法の改善、双方向型学修の実現、図書館の学修支援機能の強化
- 大学改革（生涯学習）→インターネット、CSなど多様なメディアの活用による大学教育の「アウトリーチ」（時間的、地理的、財政的制約を軽減）

3. 大学の情報化、情報戦略の推進を取り巻く課題

- 大学にとっての情報化の意義、情報戦略の必要性に対する大学トップの無知、無理解
- 「情報戦略担当役員」やこれを支える事務部局の弱体さ
- 「情報化戦略」「情報化計画」の不在

4. 今後の方向性について

- 大学の情報化基盤整備と情報セキュリティ確保に責任を持つ「情報基盤に関する最高責任者（CIO）」の任命
- 教育改革の一環としてICT導入を推進し、教員のFDに責任をもつ組織（例:「教育力強化センター」）の設置と専門家の配置
- 財務・人事・教学・病院事務などの情報化を一体的に担う「電子事務局推進本部」の設置と役員クラスの本部長の配置
- 教員、職員それぞれに対する情報化に関する研修プログラムの強化

以上